

聖書宣教会通信

東京都羽村市羽西 2-9-3 Tel:042(554)1710 Fax:042(554)5562 www.bibleseminary.jp 振替 00150-6-34971

巻頭言

「罪深い世界と神学校」

LMI-J 宣教師 奥多摩福音の家・キャンプディレクター **オツケルト・トラウゴット**

「…聖なる山によろしく。

罪深い世界を忘れるな！」

ある福音派の指導者が地方の宣教大会が終わって、笑みを浮かべながらリーベンゼラ神学生の私たちにお別れの挨拶をしました。

キリストの使節

大分前の話ですが、この挨拶のことばを忘れることができません。

「罪深い世界を忘れるな」ということは私自身にとって、単なる挨拶やキャッチフレーズでなく、神学的なコンセプトになりました。

神学生時代も、今宣教師として働いている時も、いろいろな場面で、自分がしていることの意味や目的、動機を自問しています。自己満足のためにみことばを勉強したり、神学を神学のために学ぶ、という失敗をしたことがあります。罪の結果である永遠の滅びからどのように救われるか、という福音を宣べ伝えるように主に召されたことを忘れてしまいました。多くの人々は意識しないでしょうが、誰にとっても、人生の最大の問題は罪の解決です。神様はそのために主イエス・キリストを遣わして、主のみわざゆえに救いを与えてくださいます。この福音は私たちクリスチャンに委ねられていて、まだクリスチャンでない日本人、ドイツ人、世界中の人々が必要としています。この福音を宣言することは使命でもあり、名誉でもあります(ローマ 10:14～、第一テモテ 2:5～)。

収穫のための働き手

聖書宣教会は距離的に福音の家に近いです。キャンプ伝道に関わった時から、お客さんと共に神学校を訪問する機会がしばしばありました。特にそういう時、ここで将来の教会の指導者、牧師、伝道師、宣教師が育てられていることゆえに主に感謝を捧げています。卒業式の喜びを分かち合う事はもちろんですが、毎年入会生が与えられるようにとお祈りしています。一方では、教職者の高齢化があり、他方では社会的な乱れや問題が進行しているので、牧会者の必要性が益々大きくなっています。「実りは多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主にも、収穫のために働

き手を送ってくださるように」(ルカ 10:2)という祈りは、少なくとも聖書の時代と同じように、今も大切です。

牧者と伝道者

牧師招聘に取り組んでいるいくつかの教会を知っています。地域等によって新しい牧会者についての期待は際限なく膨らんでいますし、時代の流れによって伝道、牧会の内容がどんどん変わってくと感じます。神学校や神学生にとって適切な訓練を受けることは大きなチャレンジです。

しかし、牧会者の大事な使命は信仰者を養い、成長させ、主の弟子になるように導くことです。主イエス・キリストによる救いの福音を人々に届ける使命もあります。教会に来る人々より、罪の世界に留まっている人々の方が多いです。聖書宣教会で学んでいる神学生が喜びをもって、牧会や伝道の働きに取り組んで、自分の働きの実を見ることが出来るように願っています。

主の御手にある

リーベンゼラ宣教団の本部(神学校を含めて)は南ドイツのバド・リーベンゼルという町を囲む丘の上にあります。人々はその丘を「聖なる山」と名付けてしまいました。しかし、「この世を支配する者」(ヨハネ 12:31, 14:30等)の力がリーベンゼラ本部に及ばないわけはありません。神学校も他の場所、施設などと同じようにこの世、「罪の世界」にあります。

悪魔が特にそういう場所、つまりそこにいる人々を攻撃していると感じます。先生方、学生たち、職員の一人だけでも倒すように、あらゆる方法を用います。そのようにして、神の国の広がりを阻止しようとしています。

けれども、主イエス・キリストはつねに勝利者で、神学校や神学校の働き、また働きに関与する方々を守ってくださいます。

主イエス・キリストに聖書宣教会のゆえに栄光がありますように。



教会の事務室脇の雨どい下、毎時 9.6 マイクロシーベルト 教会裏の雨どい下の土、27,400 ベクレル / kg

教会周辺の放射能汚染を告げるこのような数字を知らされたのは今年の秋のことでした。福島原発の爆発によって岩手県南の放射線量が高いことは以前よりわかっていましたが、まさかこんなに高いとは。しかも、教会が。

その後、調べていくと水沢の中でも教会周辺の数値が特に高いことがわかりました。私たちの教会はまさにホットスポットだったのです。

この事実を突きつけられて私もようやく事態の深刻さに気づかされました。ところが私の家内はずっと以前から敏感に反応していたのです。震災の一ヶ月後くらいから放射能や内部被曝に関する本を読み始めていました。

学習会に積極的に参加し、関連のホームページを食い入るように眺めていました。息子が通う保育園の先生と放射能対策について協議し、市議会にまで駆けつけては放射能問題の審議について傍聴する程でした。

そんな彼女に対する私の態度は当初、非常に冷ややかなものだったのです。やれ除染だ、やれ工事だ、やれ避難だと、次々に訴える家内に対して私は「もっと落ち着いて!」「現状に振り回されるな!」「信仰はどこにあるの!」と何度言い放ったことでしょうか。しかし、そんな私でも、四歳になる息子を涙を流しながら抱きしめる家内を見ると、思わずことばに詰まってしまうのでした。

夫に十分に理解されることのない状態で、彼女はどんなにか心細い日々を送ったことでしょうか。それでも子どもを守るために精一杯のことをしたいと願う彼女の信念は変わることがありませんでした。

そんな彼女の強い気持ちに私も次第に心動かされるようになります。そして、信仰とい

うことばを用いながらも、現実と真剣に向き合おうとしていない自分自身に気づかされ、次第に責められるようになりました。

改めて考えました。放射能によってこの国は間違いなく汚染されました。これからの時代を生きていく子どもたちのために私たちは汚染された空気と土と水しか残すことができませんでした。これは放射線量の数値の高い低いの問題でもなければ、現実はどう対処するかの問題でもありません。子どもたちのために大人たちは、精一杯のことをしなければならない。悔い改めの表明として、それをしてなければならない。そう思いました。

私は東北で生まれ育ちました。東北が大好きです。聖書宣教会で学んでいる時から、自分は東北で伝道すると、心ひそかに決めていました。ですから水沢聖書バプテスト教会から招聘の話が来た時は本当に嬉しかった。

しかし昨年 3 月 11 日を経て、東北は多くの痛みを担う地域となりました。地震と津波による被害だけではなく。東北は放射能によって広く汚染される地域となりました。人がもはやそこに住むことができない地域までもが、その中に生じてしまいました。

そして東北の苦悩はいまだに続いているどころか、ますます混迷を深めています。

東北の山並みや草原、田んぼの風景に私は何度慰められてきたのでしょうか。冷害・凶作・飢餓に長い間苦しめられながらも土と真剣に向き合ってきた東北の人々の姿に、何度心打たれたのでしょうか。その東北の地が今、悲鳴を上げています。それを思うと悔しさが込み上げてきます。

危機的な状況の中にあってもそれを気にせず穏やかに笑って歩むのが信仰者の姿なのか。それとも、現実の中で悩み、もがき、涙しながら、傷みを負った被造物とともに折りつつ歩むのが私たちの姿なのか。その選択を今、私は迫られています。

2012年度 聖書宣教会講座案内

2012年度は次のようなプログラム、講座を予定しています。11月10日（土）のオープンデイを始め、聖書講座、教会合唱講座はどなたでも参加できます（オープンデイ以外は要申込）。お待ちしております。

聖書講座（金曜日 10:30～12:10）

前期：「旧約通論（前半）」（久利 英二）
4月13日～10月19日（15回）
於 ぶどうの樹キリスト教会（四ッ谷）
後期：「新約通論（後半）」（久利 英二）
11月～3月（15回）

第37回 夏期研修講座

期間：7月10日（火）～12日（木）
会場：奥多摩福音の家
対象：牧会者とその配偶者
テーマ：「牧会と牧会者」
昨年、東日本を襲った大震災のためにやむなく夏期研修講座を取りやめましたが、今年度はテーマを「牧会と牧会者」として開催いたします。この問題に関係の深い聖書箇所を釈義しながら、そこに示されている牧会のあり方をみことばから直接聞きたいと願っています。同時にパネルディスカッションや交わりを通して牧会上の諸問題を共有することができれば幸いです。
講師：鞭木由行、赤坂泉、内田和彦、岡本昭世、津村俊夫、松本任弘、横山昌英
礼拝：久利英二、伊藤暢人
詳細：別紙案内、ウェブサイトをご覧ください。

教会合唱講座（火曜日 19:15～21:00）

前期：「新しい歌を主に歌え。全地よ。主に歌え。」
（飯島千雍子、遠藤かおる）
4月24日～10月16日（9回）
於 立川駅前キリスト教会
後期：11月～3月（9回）

第28回 教会音楽夏期講習会

期間：7月26日（木）～28日（土）
会場：聖書宣教会（宿泊は近隣の「玉川苑」）
対象：聖歌隊員、聖歌隊指導者、奏楽者、独唱者等、礼拝や教会の諸集会で音楽の奉仕に携わっている方、および奉仕の準備をしたい方
みことばと音楽 一詩篇—
神に礼拝をささげる者にとって「賛美」の果たす役割の大きさは今更言うまでもありません。それは、私たちの信仰そのものであり、私たちの心からの告白です。教会における賛美がどうあるべきなのか、何を賛美するべきなのか、講義と実技をとおとして一緒に理解を深めていきたいと願っています。お誘い合わせの上、お出かけください。
講師：聖書宣教会教師・講師
詳細：別紙案内、ウェブサイトをご覧ください。

（このほか、聴講制度があります。詳細は事務局まで）

2012年度 聖書宣教会主要年間予定

2012年

4月10日（火）	入会式	11月1日（木）	後期開始
4月13日（金）	前期開始	11月10日（土）	オープンデイ
5月22日（火）	祈りの日	11月22日（木）	祈りの日
6月7日（木）～6月8日（金）	特別講義	12月1日（土）	第30回賛美礼拝
6月27日（水）～7月4日（水）	集中講義	12月17日（月）～1月4日（金）	クリスマス調整期間
7月5日（木）～8月29日（水）	夏期調整期間	2013年	
7月10日（火）～7月12日（木）	夏期研修講座	1月5日（土）	後期再開
7月中旬～	キャラバン伝道	2月11日（月）	信教の自由を守る日
7月26日（木）～7月28日（土）	教会音楽夏期講習会	2月18日（月）	入会試験
9月1日（土）	前期再開	2月23日（土）	教会音楽のひとつき
10月19日（金）	前期終了	3月12日（火）	卒論発表会
10月20日（土）～10月31日（水）	秋期調整期間	3月16日（土）	後期終了
10月23日（火）～10月24日（水）	リトリート	3月18日（月）	第54回卒業式

編集後記

未曾有の経験に、多くを問われ続けた一年でした。
「主のみことは奇しきかな」…（賛美歌Ⅱ-191）」と告

白し、恵みの主に信頼し、期待して、歩みを前へ進めたいと思います。（A）